

島根県作業療法士会 令和3年度 第4回理事会 議事録

日時：令和3年11月20日(土) 13:30~17:30

場所：Web会議 (Zoom 使用)

出席者：小林央、森脇、篠崎、陶山、石川、石田、稲垣、岩根、岩本、川上、岸、佐藤千、佐藤佑、
田中、錦織、福代、古田、堀江、山根、山本、角 以上 21名

委任状：吉岡、西村、原田 以上 3名

1.会長挨拶

2.報告事項

●保険部

令和3年度保険部研修会 生活行為向上リハ実施加算に関する研修会

●島根訪問リハビリテーションネットワーク 令和3年度島根訪問リハビリテーション研修会

令和3年度実務者研修実施報告

3.企画事項

●学会 第16回島根県作業療法学会

→承認

担当：橋南ブロック 学会長：玉造病院 山崎敦広 OTR

開催に向けて準備していく

●推進局 事業部「リモートフェスタ2020」動画投稿に関する同意書の修正について

→承認

説明：内容は弁護士による確認を得ながら修正

意見：運用時の提案1 一部手渡し、もう一部は控えとしてはどうか。

提案2 理事会に提出、確認 →弁護士からも複数での最終確認との助言あった。

●推進局 事業部 作業療法フェスタC (学生向け普及啓発事業) について

→承認

→出雲市教育委員会と相談し日程調整。中学校の事業計画に沿って協議の上の開催を。

●特別支援教育と作業療法委員会

→承認

2021年度 作業療法フェスタ 2021年11月20日開催

→開催後にHPへの掲載も検討。

4.協議事項

●広報部 新広報誌名称公募企画について

→承認

・企画の実施について

：初回発刊時は名称無し、名称公募し理事会で採決。作業療法の普及啓発目的もあり。

意見：応募案内用紙は島根 OT 士会のアピール増があれば良い。

何の広報誌なのかが分かりやすくなれば良い。例) 県士会 LINE スタンプ利用など

・企画の内容について

質問：県士会のコンセプト、普及啓発のゴール、成果は何か？

→作業療法士の認知度向上を県単位でも進めていく 県民全員が知っているなど

広報誌目的としては、専門性と分かりやすさ 作業療法士の取り組みを紹介できること

初刊にコンセプトを記載。フライヤー、SNS、ブロックメールを利用予定

●専門部アンケート実施について (作業療法の専門性について)

→承認

・対象：県士会員 ・方法：ブロックメール ・期間：1か月程度

・内容：現チームの取り組みに対する意見集約、他の専門領域での取り組みについて情報収集 等

●次年度事業計画について：会長より

→各部の事業計画に整合性を持たせること。

2022年（令和4年度）重点活動項目にひも付けを行った事業内容となるように。

【各部 2022年度事業計画】 ◎は重点活動項目

- 事務局 庶務部 ◎2-1、(2)、3、4、(5) →承認
「協会員＝「県士会員」 協会の動向をみながら定款の変更に向けた取り組み
会員個人への情報提供方法の検討 他
- 事務局 財務部 ◎2-1、2 →承認
「イベントペイ」導入による作業の煩雑緩和、部員交通費支払い作業煩雑緩和を図る
未納会員へのアプローチについて：通年方法の継続、他方法も検討中
- 広報部 ◎6-1、6-2 →承認
1.「機関紙」「広報誌」2か月に1回の頻度の広報とする。
機関紙：1回は配送予定 広報誌のボリューム：A4サイズ1枚 印刷：予算との兼ね合い
2. 2022年度 OT 在籍施設の調査、2023年 HP で公開予定。庶務部と連携して進める。
4. 管理マニュアル作成、他 5. 広報媒体の拡充（ブロックメール以外）
- 教育局 生涯教育部 ◎ →承認
1. 研修会の開催 2. 生涯教育制度の推進活動 3. 予算案
- 学術部学術部組織図（役割分担）◎1-1 →承認
「学術誌」「査読・抄録係」部内組織図作成
ガントチャートの利用（コンセプト決定：重点プロジェクトとし時間をかける）
予算：2年後発刊を目標としたスケジュール設定として作成
スラック/トレロの使用
*スラック：メールでの情報のやり取りを1本化 トレロ：課題の進捗状況を共有し明確化
- 教育局 専門部 精神科作業療法 G 精神科作業療法懇話会 ◎5-2 →承認
研修会：事業部と共催、スケジュール調整していく。
- 教育局 専門部 IT支援チーム ◎3-3、7-1、7-2 →承認
広報：おおはいごんを利用 講師依頼：対応継続
- 教育局 専門部 福祉用具 G ◎3-3、7-1、7-2 →承認
youtube を利用した動画投稿（会員限定）
- 福利部 ◎2-1、2、3 →承認
1. 県士会交流会 2. アンケート調査
1. 県士会交流会（ZOOM 利用） 事業部と共催
2. 福利厚生制度について：会員、家族の健康支援他をアンケート調査 「法定外福利厚生*」
*働きやすさ、モチベーションの維持、幸福感などが含まれるもの
意見：講演会の開催はどうか。
意見：項目に「仕事」「家庭」両立支援 会員の満足度があれば良い。
- 事業部 ◎6-1、7-2 →承認
1. 作業療法普及啓発事業 作業療法フェスタ
意見：効果判定を公表してはどうか。
→以前、県学会でフェスタアンケート結果を用いた発表あり。今後も随時検討。
意見：作業療法認知度を経時的にアンケートで収集してはどうか。
→認知度の目安として、参加人数目標を県民の0.1%、700人として取り組んでいる。
- 保険部 ◎2-3、7-1、(1-2、5-3) →承認
各分野での LINE グループ作成を検討している。
「オープンチャット機能」友達登録なしで利用可能。参加しやすいのではないかと考えている。
(プライバシー保護もなされている)
新人向け研修は生涯教育部の新人向け研修と連携していけると良い。

【特設委員会 2022 年度事業計画】

- 認知症の作業療法委員会 ◎5-6、 2-5 庶務部と合同 →承認
研修会：試験的に感染対策を取りながら集合方式を予定。
意見：感染拡大状況を鑑みて、県や協会の見解をみながら検討を。
- 地域支援事業委員会 ◎3-1、 3 →承認
次年度も事業継続
- MTDLP 委員会 ◎1-2、 5-3 →承認
講師人数の確保。生涯教育部との連携を図る。
- 運転と作業療法委員会 ◎5-4、 7-1、 7-2 →承認
研修会：グループワーク 運転評価、生活支援 情報共有の場となるよう企画。
パンフレット：適宜修正・調整継続
- 島根訪問リハビリテーションネットワーク ◎7-2 →承認
専門職協議会との組織編成の検討 他

5.監事より

次年度予算：各部のインク代に幅あり。講師や所属施設からではなく予算で計上する。
福利部：ハラスメントや働き方などについても検討を。
各部事業：事業開催後は随時 HP への掲載を。
研修会開催方法：県の方針に沿って実施を。
情報共有：ツールの導入など工夫を。例) ドロップボックス

6.会長より

=====
次回 令和 3 年度 (2021) 第 5 回理事会
日時：令和 4 年 1 月 22 日 (土) 13:30~16:30
場所：Web 会議予定
内容：各種協議事項
=====